

住民へ向けての防災教育 —まちぐるみで防災力を向上させるには—

日時：平成27年 **1月31日**（土），14:30～16:30

場所：弘前文化センター3階，視聴覚室

主催：弘前大学防災社会研究会（代表者：片岡俊一）

後援：弘前市，青森県，弘前大学，東奥日報，陸奥新報

FMアップルウェーブ，自然災害研究協議会東北地区部会

日本自然災害学会東北支部

参加料：無料

内容（総合司会 白石睦弥）

○基調講演：

「中越大震災10年から考える防災人材育成の未来」

公益社団法人中越防災安全推進機構 復興デザインセンター長 稲垣文彦氏

○弘前市の現状報告

○対談：「地域，住民に必要な防災教育とは」

司会 平井太郎 弘前大学大学院地域社会研究科 准教授

対談者 稲垣文彦氏

片岡俊一 弘前大学大学院理工学研究科 准教授

注意事項：文化センターの駐車場は利用できますが，料金は個人負担となります。

連絡先

片岡俊一（弘前大学大学院理工学研究科），Tel:0172-39-3616, E-mail: kataoka@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学防災社会研究会 2015公開シンポジウム
住民へ向けての防災教育
—まちぐるみで防災力を向上させるには—

趣旨

災害に対応するためには、自助、共助、公助の各主体が適切に活動することが重要です。このうちの共助をうまく動かすために、地域の防災活動をリードする人材が必要となり、人材育成のための講習会などが様々な自治体で行われています。

弘前市でも、地域防災の推進者となる人材を育成するために、「防災マイスター育成講座」を平成24年度から実施しており、既に100名を超える防災マイスターを輩出しています。しかしながら、防災マイスターが地域でどのように活動してゆくのかについては、まだまだ試行錯誤の状況にあります。また、そもそも地域防災の核となる方への教育内容についても定まったものではありません。

そこで、地域の防災教育について先進的な試みを実施している「中越防災安全推進機構」から講師を招き、住民を巻き込んだ防災力向上とはどのようなものであるかをご説明いただく機会を設けました。講演にとどまらず、更に理解を深めるために、講演を踏まえた対談も実施します。会場も交えながら、自治体等が市民向けに実施する防災教育について望ましい方向についての意見交換を行い、弘前発の提案ができればと考えておりますので、皆様の振るってのご参加をお待ちしております。

日 時：平成27年1月31日(土), 14:30~16:30

場 所：弘前文化センター3階, 視聴覚室

主 催：弘前大学防災社会研究会(代表者:片岡俊一)

後 援：弘前市, 青森県, 弘前大学, 東奥日報, 陸奥新報
FMアップルウェーブ, 自然災害研究協議会東北地区部会
日本自然災害学会東北支部

参加料：無料

内 容(総合司会 白石睦弥)

● 基調講演:「中越大震災10年から考える防災人材育成の未来へ」

公益社団法人中越防災安全推進機構 復興デザインセンター長 稲垣文彦 氏

● 弘前市の現状報告

● 対談:「地域, 住民に必要な防災教育とは」

司 会 平井太郎 弘前大学大学院地域社会研究科 准教授

対談者 稲垣文彦 氏

片岡俊一 弘前大学大学院理工学研究科 准教授

注意事項：文化センターの駐車場は利用できますが、料金は個人負担となります。
連絡先

片岡俊一(弘前大学大学院理工学研究科)
Tel:0172-39-3616, E-mail: kataoka@cc.hirosaki-u.ac.jp